



いいでしょ、これ。ラルファです。

THE-O AIR LITE

TP-700



MANUAL

Ver . 1.01

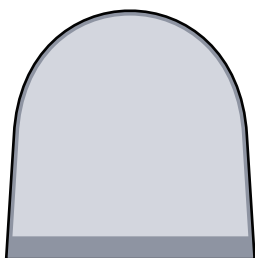
品質表示

サイズ：約 320（中央部）～約 270（端部）× 630 × H200cm（展開時）約 (W)70 × (D)40 × (H)40 cm（収納時）
材 質：フライシート 150D ポリエステルオックス・PU コーティング、撥水加工、UV カット加工
 インナーテント ウォール（68D ポリエステルタフタ）ボトム（210D ポリエステルオックス・PU 加工）
耐水圧：フライシート 2,500mm、インナーテント 1,800mm（ボトム）
総重量：約 19kg

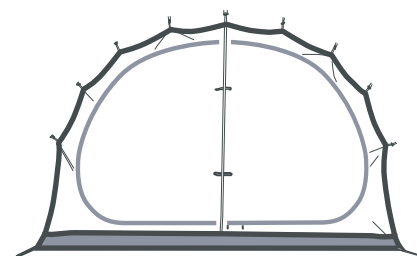
セット内容



フライシート



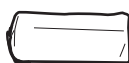
TPU パネル ×1
メッシュパネル ×2



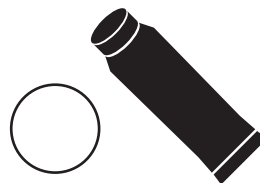
インナーテント



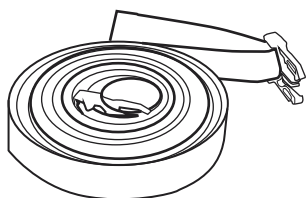
本体収納ケース



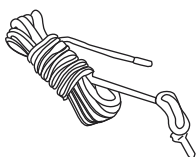
ロープ収納ケース



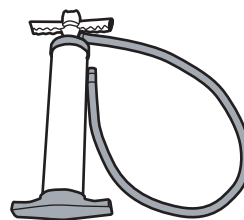
パッチ修理キット



デ이지チェーン



自在付きロープ ×6



エアポンプ

※ ペグ、ハンマーは付属しておりません。以下の必要本数を参考に事前にご用意ください。

- ・ペグ 12 本（最低必要本数）

※ キャンプを立てる場合は、別途任意のポール・ロープ・ペグをご用意ください。

取扱い上の注意 よく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

使用前に必ず取り扱い説明書を読み、一度組み立て付属品の不足や破損がないかを確認してください。
本製品はキャンプ用テントです。それ以外の用途では使用しないでください。
製品を安全にお使いいただくために、以下に書かれた警告注意事項を必ずお守りください。



危険

死亡又は重症などを負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・台風、暴風雨の際は絶対に使用しないでください。
- ・使用中は天候の変化に注意し、悪天候が予想される場合は使用を中止し速やかに撤収、安全な場所へ避難をしてください。
- ・風の影響を受けやすい場所や落石や雪崩、増水などの恐れのある場所で、設営はしないでください。
- ・本製品の近くや内部で火気を使用しないでください。火気の使用により火災や酸欠、一酸化炭素中毒などの恐れがあり大変危険です。
- ・出入り口やベンチレーターを常に関開け、換気に充分ご注意ください。
- ・小さなお子様のご使用になる場合、保護者の方はお子様から目を離さないでください。小さいお子様にポールの組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。



注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- ・設営場所は石や小枝などをあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- ・水はけが良く、平らな場所で設営してください。水気や汚れは製品の劣化につながります。
- ・不整地は製品の歪みによる破損につながります。できるだけ平坦で危険のない場所を選んでください。
- ・設営をする際は必ず二人以上で行い、周囲の安全を確認し広い場所で組み立て使用してください。
- ・太陽光の紫外線によりフライ生地が劣化します。設営前に生地の状態を確認してからご使用ください。
- ・お子様がいる場合はポールやフレームにぶつかったりしないよう十分にご注意ください。
- ・風が強いときは設営をしないでください。本体が飛ばされたり、破損する場合があります。
- ・鋭利な物で強く擦れると、破れやキズにより視認性が損なわれる場合があります。
- ・説明書に従いペグやロープでしっかりと地面に固定してご使用ください。
- ・常設用ではありません。本製品を常設した場合、紫外線などの影響で劣化し、短期間で退色や破損する可能性があります。
- ・焚き火のそばで使用しないでください。火の粉で穴が空く場合があります。
- ・本体と外気の温度差、使用人数が多い場合は結露が生じ本体に水滴が付く恐れがあります。
これは水漏れではありません。換気を行うことで改善することができます。
- ・急な天候の変化に対応できるよう、製品から長時間離れないでください。
- ・お客様による製品の改造、誤った使用方法による事故や故障につきましては一切の対応をお断り致します。



注意

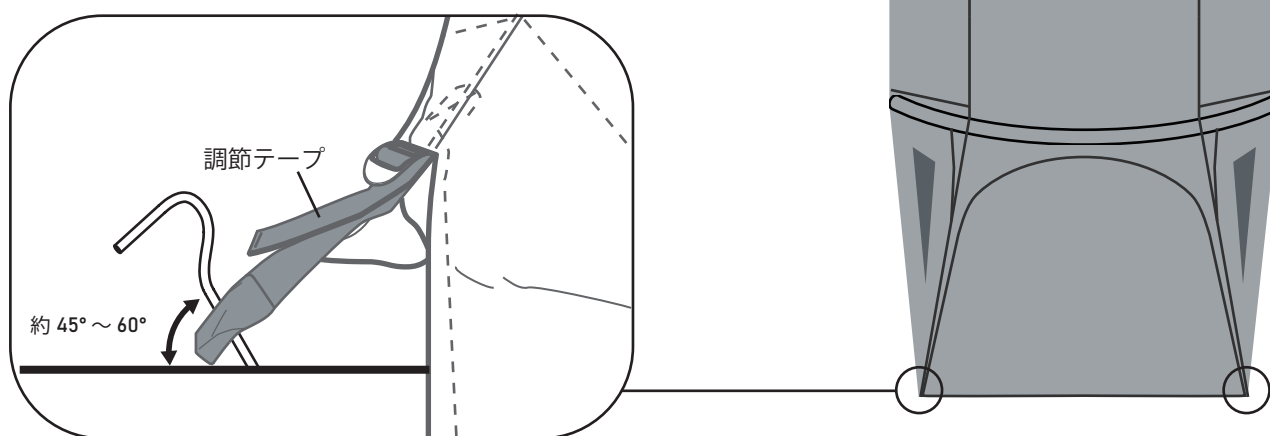
TPU パネルの取扱上の注意

- ・ TPU はおおよそ 80℃ 程度の比較的低い温度で軟化・変形・収縮・破損します。ストーブや焚き火の熱、ランタンの高温部に近づけないでください。
- ・ 製造時の粉が表面に浮き出て白く見えることがあります。その場合は優しく拭き取るか洗ってからご使用ください。
- ・ 鋭利な物で強く擦れると、破れやキズにより視認性が損なわれる場合があります。
- ・ TPU 同士やほかの生地と密着した状態で高温多湿に置くと、張り付きや色移りが起きやすくなります。
- ・ 長期間きつく折りたたんだり圧縮したりすると、シワや折りグセが残りやすいため、なるべくゆとりを持たせて収納してください。
- ・ 濡れたまま保管するとカビや劣化の原因になるため、よく乾燥させてから収納してください。

- ・設営は 2 人以上で行ってください。
- ・風向き、日当たり、水はけなどを考慮して設営位置を決めてください。

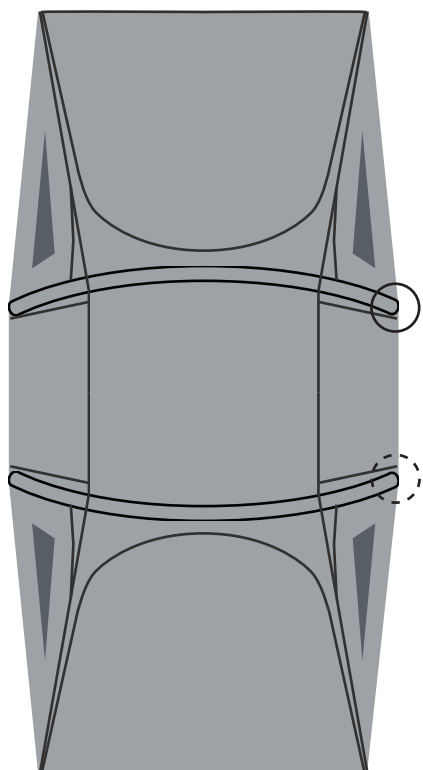
1 フライシートを広げて、ペグで仮留めする

- ・片側の端 2 カ所をペグで留める。
- ・ペグを打ち込んだ後に調節テープを引き、テンションをかけます。

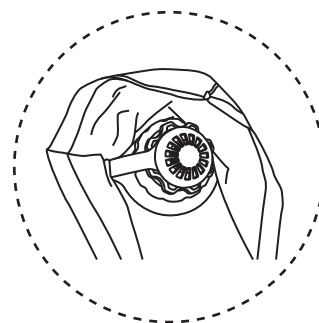


2 エアポンプでチューブに空気を送り込む

- ・1 人が空気を送り込んでいる間、別の 1 人が外側から屋根や側面を持ち上げてください。
- ・チューブが折れていると、空気がうまく注入できません。



空気注入口



空気圧調整弁

- ① バルブの小さいふたを外し、ネジ山に沿ってチューブ先端を回し取り付けます。
- ② 赤色の空気圧調整弁から空気が排出されるまで注入します。
- ③ エアポンプを外しバルブを閉じます。

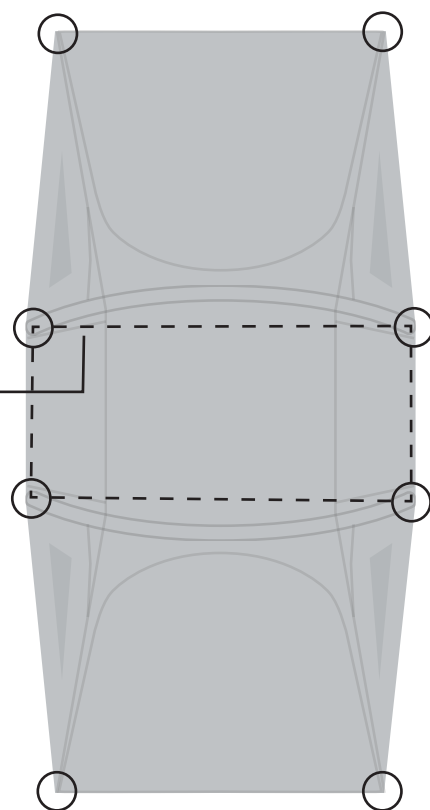
※空気注入口は白色バルブの 1 箇所です。

3 前（入り口）側を引っ張り、前からペグで留める

・ 入り口側から順番にテントにたるみがないようにペグで留めてください。（テントが風で飛ばされ、怪我の恐れがあります。）

・ ビルディングテープを踏まないでください。

ビルディングテープ



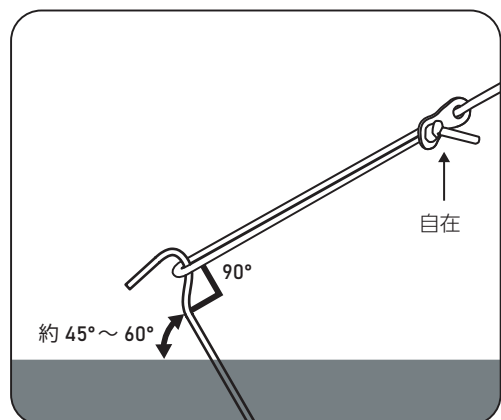
4

状況により追加でロープを張りペグで固定してください。



ペグで固定

※裏側も同様にペグで張り綱を留めます



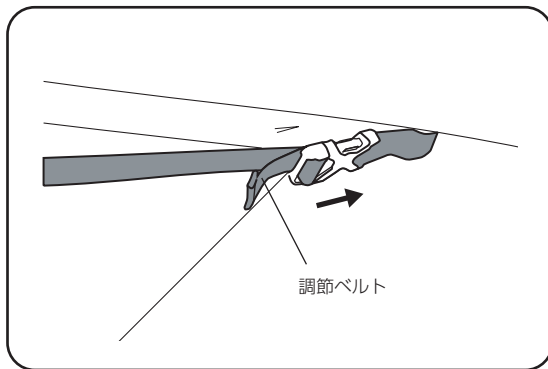
- ・ 張り綱は自在を引き、テンションを掛ける。
- ・ テントがたるまないように設営してください。（テントが風で飛ばされ、怪我の原因になります。）

デージーチェーン・インナーテントの取り付け方法

必要に応じてデージーチェーン・インナーテントを取り付けてください。

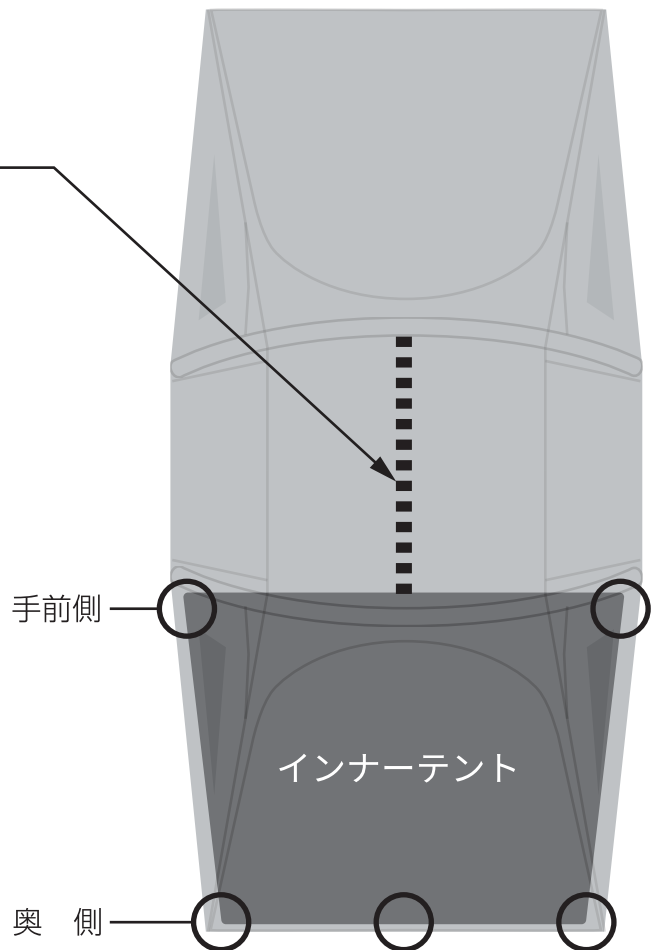
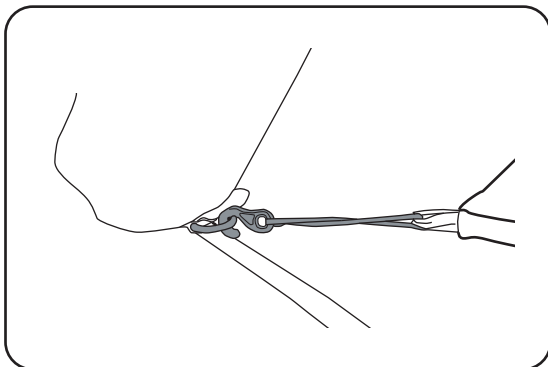
デージーチェーン

両端のバックルで繋ぎ、調節ベルトで長さを調整してください。

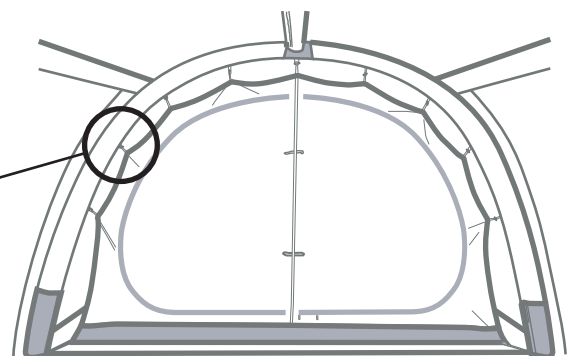
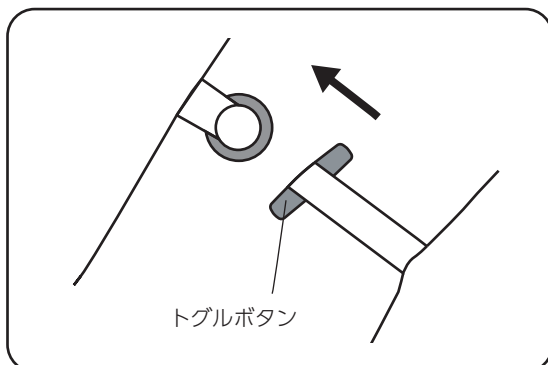


インナーテント

- ① インナーテントのフックを奥側から手前の順に5ヶ所固定します。
(奥側3ヶ所、手前側2ヶ所)

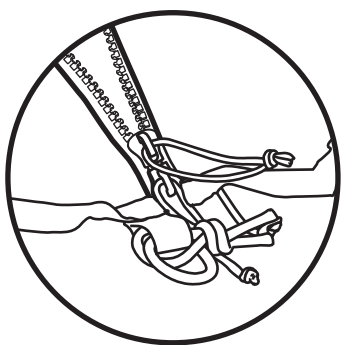


- ② トグルボタンをフレーム側のリングに引っ掛けインナーテントを吊り下げます。



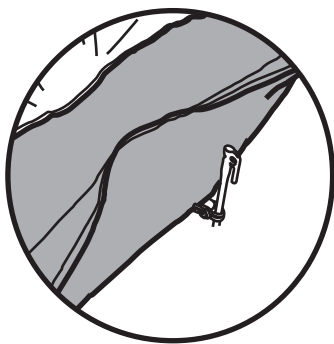
----- オプション取り付け用ファスナー

両端にオプション取り付け用のファスナーがありますので、必要に応じて TPU パネル・メッシュパネルの取り付け取り外しが可能です。



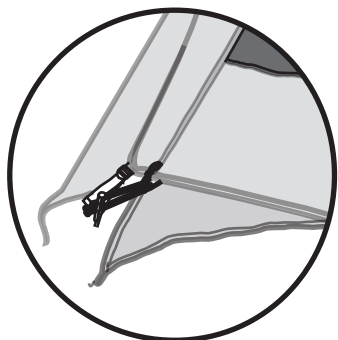
①

右からファスナーを通し
オプションを取り付けます。
ループはペグに引っ掛け固定
してください。



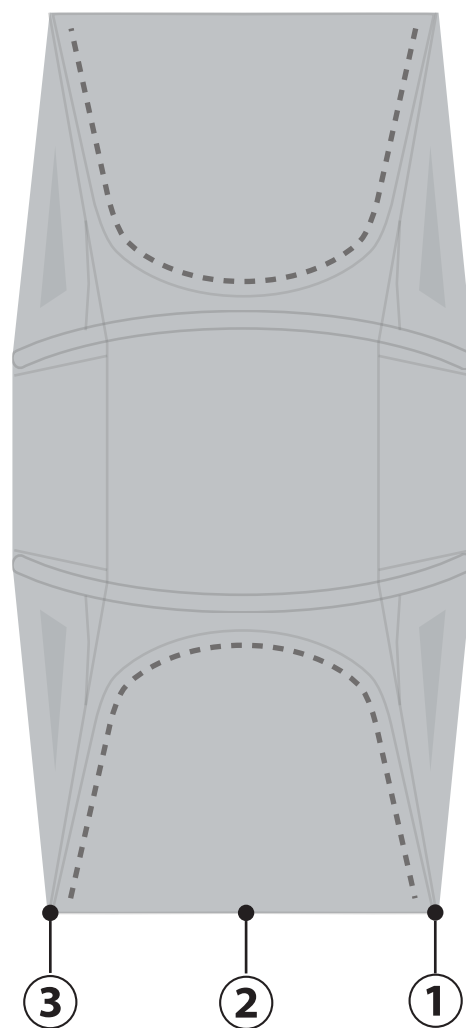
②

ペグダウンできるループが
ありますので、状況に応じて
ご使用ください。



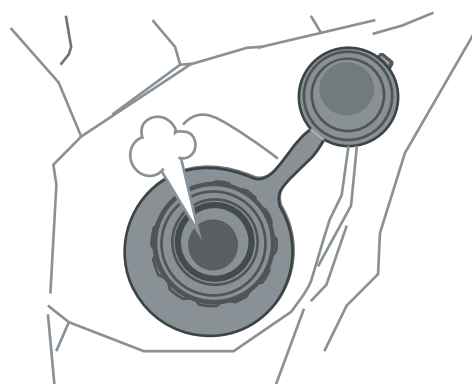
③

風の影響でファスナーが開く
可能性があるので、ループを
ペグに引っ掛け固定してください。



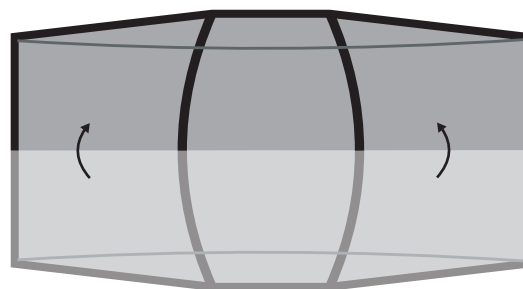
① エアフレームから空気を抜く

赤色、白色バルブの大きいふたを開けると空気が抜けます。
勢いよく空気が出るため顔を近づけないでください。



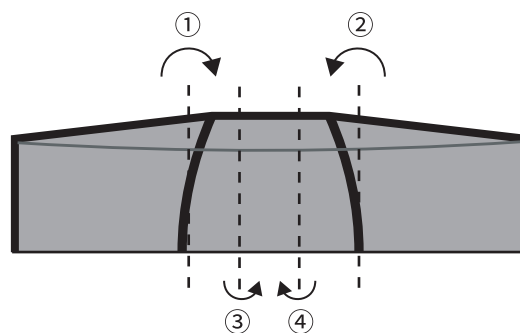
② フライシートを半分に折りたたむ

フライシートを右図のように長手方向で半分に折りたたみます。



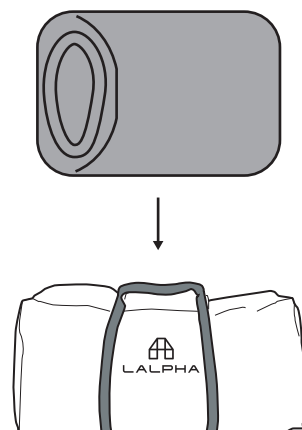
③ さらに折りたたむ

半分に折りたたんだフライシートを①～④の順に折りたたみます。
その後フライシートを収納袋の大きさに合わせて丸めます。
この時チューブ内部に残っている空気を押し出すようにたたんでください。



④ 収納

空気穴のふたを閉め、本体とエアポンプを収納します。



メンテナンス・保管上の注意

- ・高温多湿の場所で保管すると生地の変質をはやめます。風通しの良い直射日光が当たらない場所で保管してください。
- ・濡れたまま保管すると、カビ、腐食、劣化、撥水機能の低下の原因となります。
- ・汚れを拭き取る際、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤の使用は色落ちや変色の原因となりますので、ご遠慮ください。
- ・洗濯機で洗わないでください。

TPU 生地 / エアフレームに穴（ピンホール）が開いた場合

付属のパッチ修理キットで補修することができます。

※大きな穴が開くなどした場合は、お買い求め頂いた販売店、または弊社までお問い合わせください。

- ①エアフレームを十分に膨らませて、空気が漏れている穴位置を確認します。分かりにくい場合は水に浸すか石鹼水を疑わしき部分に塗って加圧してください。気泡が発生する場所が穴位置です。印をつけできるだけ空気を抜いてください。
- ②石鹼水を使った場合は水で良く洗い流し、完全に乾かしてください。濡れていたり石鹼水がついたままではパッチが本製品に接着しません。
- ③穴のまわりの汚れや水分をきれいに拭き取り、シワを伸ばした状態にしてください。パッチの剥離紙を剥がし、中心から空気を抜くように強く押さえて貼りつけます。
接着剤を使う場合は開いた穴の外側に向かって同心円状にうすく伸ばして塗り、パッチを貼り合わせます。表面が平らで硬いものでしばらくパッチを押さえ、浮いている箇所がないことを確認してください。
- ④すぐに使わず半日～1日程度放置してしっかり接着させます。
- ⑤エアフレームを膨らませ、空気漏れがないことを確認します。

修理について

お買い求めいただいた製品は万全を期しておりますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店舗様または弊社までお問い合わせください。

ご使用や経年による破損などに関しては、適切な価格で修理させていただきます。

修理品をお預けの際は、製品の水気や汚れを取ってください。水気や汚れがあるものは修理の妨げになり、コストと時間がかかりお客様へのご負担が増える場合がございます。ご理解の程よろしくお願いいたします。

以下の場合は保証・修理できない場合もありますのでご了承ください。

1. 製品やパーツの廃盤により資材の入手が困難な場合
2. 取扱説明書で禁止されている取り扱いや分解・改造による製品の破損
3. 素材の経年劣化による製品の寿命
4. 他社製品との組み合わせによる破損



いいでしょ、これ。ラルファです。

スワロー工業株式会社

新潟県燕市小関 657

TEL:0256-63-6031

FAX:0256-63-6053

いいでしょ、これ。ラルファです。

<https://www.lalpha.net>



お問い合わせフォーム

ライフスタイル事業課
lalpha@swallow-k.co.jp

